

ゴルフ場における芝の農薬使用基準

4. 植物成長調整剤、使用法及び使用上の注意事項

平成28年12月31日現在

薬剤名 (有効成分名)	毒性	10a当たり 使用薬量と 希釈水量	使用方法 と使用回 数	使用目的	芝への適応性			使用上の 注意事 項
					日本芝	ベント グラス	ブルー グラス	
グリーンフィールド水和 剤 (フルブアリドール)		日本芝 薬量:0.2~0.4g/m <sup>2</sup> 水量:250~300ml/m <sup>2</sup> ベントグラス、ブルーグラス、パ ーミュダグラス 薬量:0.1~0.2g/m <sup>2</sup> 水量:250~300ml/m <sup>2</sup>	芝生育初 期~芝生 育盛期 全面均一 散布2回 以内	草丈の伸 張抑制	○	○ パ ー ミ ュ ダ グ ラ ス に も 適 用 有 り	○	1. 極端な乾燥条件下での 使用は避ける。
		日本芝 薬量:0.025~0.075g/m <sup>2</sup> 水量:100~300ml/m <sup>2</sup>	芝生育初 期~芝生 育盛期 全面均一 散布6回 以内	草丈の伸 張抑制	○			
		ベントグラス 薬量:0.0125~0.05g/m <sup>2</sup> 水量:100~300ml/m <sup>2</sup>	芝生育初 期~芝生 育盛期 全面均一 散布8回 以内	草丈の伸 張抑制		○		
		ベレニアルライグラス 薬量:0.025~0.075g/m <sup>2</sup> 水量:200~300ml/m <sup>2</sup>	芝生育初 期 全面均一 散布8回 以内	草丈の伸 張抑制			ベレニ ア ル ラ イ グ ラ ス	
グリーンフィールド粒剤 (フルブアリドール)		日本芝 薬量:10~20g/m <sup>2</sup> ベントグラス、ブルーグラス、パ ーミュダグラス 薬量:5~10g/m <sup>2</sup>	生育初期 ~生育盛 期全面均 一散布2 回以内	草丈の伸 張抑制	○	○ パ ー ミ ュ ダ グ ラ ス に も 適 用 有 り	○	1. 極端な乾燥条件下での 使用は避ける。
ピオロックフロアブル (プロヘキサジオンカルシウム 塩)		ブルーグラス、日本芝 薬量:40~80ml 水量:100~200% ベントグラス 薬量:20~60ml 水量:100~200% ベントグラス 薬量:40~60ml 水量:100~200% 日本芝 薬量:40~80ml 水量:100~200%	生育期茎 葉散布6 回以内	草丈の伸 張抑制に よる刈込 み軽減	○	○	○	1. 散布後の刈り込みは行 わない。 2. 展着剤は加用しない。
		ベントグラス 薬量:40~60ml 水量:100~200% 日本芝 薬量:40~80ml 水量:100~200%	生育期茎 葉散布6 回以内	芽数増加	○	○		
プリモマックス液剤 (トリネキサパックエチル)		日本芝 薬量:50~100ml 水量:150~200% ベントグラス、パ ーミュダグラス 薬量:70~140ml 水量:150~200% ブルーグラス 薬量:100~200ml 水量:150~200% ブルーグラス 薬量:50~150ml 水量:50~100% のしぼ、ベントグラス 薬量:50~75ml 水量:50~100% こうらいしば 薬量:35~75ml 水量:50~100% パ ー ミ ュ ダ グ ラ ス 薬量:50~100ml 水量:50~100%	生育盛期 全面均一 散布5回 以内	草丈の伸 張抑制に よる刈込 み軽減	○	○ パ ー ミ ュ ダ グ ラ ス に も 適 用 有 り	○	1. 散布前後の刈り込みは 行わない。 2. タープが形成された後に 散布する。 3. 高温時の使用は避け る。
		ブルーグラス 薬量:50~150ml 水量:100~200% ベントグラス、パ ーミュダグラス 薬量:50~100ml 水量:100~200% こうらいしば 薬量:35~75ml 水量:100~200%	生育盛期 全面均一 散布5回 以内	芽数増加 及び根量 増加	こうらい しばの み	○	○	